

# 子どもの広場

## 【なかよし交流会】

5月14日、附属特別支援学校のふれあいピックに2年生26名で参加しました。はじめは手をつなぐのも恥ずかしそうにしていたのですが、時間が経つにつれて、声をかけ合ったり笑顔でふれ合ったりする姿が見られました。

今後の交流として、7月に水遊び、11月にふれあい秋まつりで交流を深めていく予定です。交流を通して、お互いを認め合い相手を思いやる心を育てていきたいと思えます。



## 【プール開き】

6月6日から1年と6年、2年と4年、3年と5年と、順次プール開きを行いました。1年ぶりに子どもたちの歓声が戻ってきて、いよいよ夏本番という感じです。渦巻きを作って人間洗濯機をしたり、上学年が下学年をおんぶして大プールを渡ったりしました。上学年が模範泳法を披露すると、「す



ごいなあ。さすがだなあ。」と感心していた下学年でした。今年も距離を伸ばしたり、新しい泳法にチャレンジしたりと自分のめあてに向かってがんばってほしいと思います。

## 【和太鼓・響連～ 因幡の手づくりまつり出演】



5月30日、鳥取大学主催の「いなばの手づくりまつり」で、本校の和太鼓グループ「響連」の子どもたち13名は「附小こどもばやし」をのびのびと発表しました。「響連」結成からわずか3週間。子どもたちは自主的に練習に取り組み、全員練習の度に心がひとつになっていくのが伝わってきました。6年生が5年生に伝統を引き継いでいる姿は誇らしく思いました。上級生から次の代へ。来年はどんな和太鼓の音が空に響くのでしょうか。今後も音楽科で和太鼓の学習を楽しんでいきたいと思えます。

## 【田植え体験】

6月7日に、鳥取大学農学部の中田先生と学生さんたちにお世話になりながら田植え体験を実施しました。13アールの水田に、5年生74名で「ひとめぼれ」の苗を植えていきました。21cm間隔で苗を植え、1列植え終わったら30cm下がるという作業を繰り返しました。泥だらけになりながら悪戦苦闘し、1面の水田を植え終わるのに約1時間半かかりました。普段何気なく口にしている米を育



てるために、たいへんな労力がかかっていることを改めて感じる事ができました。。それだけに、最後に食べた塩おにぎりの味は格別だったようです。



言葉のキャッチボール

西本 愛実

大学時代、私は放送サークルに入り、収録スタジオに出入りするようになりました。しばらくして、近くのコミュニティFM局で、毎週三十分番組を収録し、放送することになったのです。

初めての収録はさんざんな結果でした。他のDJとの会話がうまく続かず、何度か話が止まってしまったのです。

落ち込む私たちに、先輩がこんな話をしてくれました。

「言葉のキャッチボールは相手がいないとできないよ。相手が話をしているときに、どんなことを話したいのか、この人はどういう人なのか、ということを考えながら聞いていると、それは相手にも伝わる。そして、それは自分にも同じように返ってくるよ。」

みなさんは今日、何人の友達と言葉のキャッチボールをしましたか。私は本物のボールでのキャッチボールは苦手だけど、『言葉のキャッチボール』ならいつでも保健室でお待ちしていますよ。



